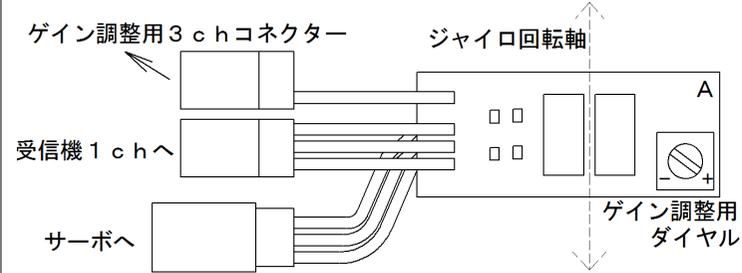


①ジャイロの取り付け

ジャイロ本体は下図のジャイロ回転軸が路面に垂直になるように車に搭載してください。ジャイロは上下があります。向きは⑤の作動確認を参照してください。車のホイールベース内に搭載します。受信器やアンプの側面などに市販の両面テープでしっかりと固定してください。

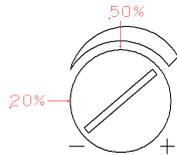
②ジャイロの配線

ジャイロの受信機1chコネクター(下図参照)を受信器のステアリングチャンネルにステアリングサーボコネクターを下図のサーボへのコネクターにそれぞれ挿します。3chがあるプロポの場合はゲイン調整用コネクターを受信機の3chに指します。2chプロポの場合はこのコードを使用しません。3chコネクターは信号線(白ライン)しかありません。他のサーボコネクターの向きと合わせて差し込んでください。



⑥ジャイロの調整

2chプロポの場合は本体ダイヤルでジャイロの効きを調整します。3chプロポの場合はプロポの3ch目で調整します。最初は40%くらいで始めてください。アンダーステアを感じる時はダイヤルをマイナス方向に回します。オーバーステアの際はプラス方向に回してください。調整は70%くらいを上限としてそれでもオーバーステアの際は車のセッティング等を見直してください。



本体ダイヤルは基盤のAの文字が読める向きで右に回すと+、左に回すと-です

③ジャイロの初期設定(3chを使用する場合)

下記の3チャンネル設定の補足も必ずお読みください。

ジャイロ側のダイヤルを+方向にいっぱいに回します。②参照この位置で3チャンネルの操作が可能になります。3ch目を使用する際はココから動かさないでください。

まず、お持ちのプロポで3ch目のダイヤル(スイッチ)の振り当て設定します。稼働ステップを50くらいに設定します。設定方法は各プロポの説明書を参照。ステップ数調整出来ないプロポは③の初期設定項目は飛ばして下さい。内蔵設定でもジャイロゲインの調整は可能です

バッテリーを繋ぎ走行状態にして電源を入れます。プロポ側の3chダイヤル(スイッチ)の数値を最大、最小、最大と繰り返し変化させます。5回以上繰り返し最大側で停止させると3秒後にサーボが小さく3回動きます。これで、プロポ側とジャイロのジャイロゲインの同調が完了です。操作は素早く行ってください。ゆっくりだと設定が上手く出来ません。上手く行かなかった時はもう一度電源を入れ直して再度設定してください。

上で大きした稼働ステップを操作し易い値に変更する(1~10を推奨)

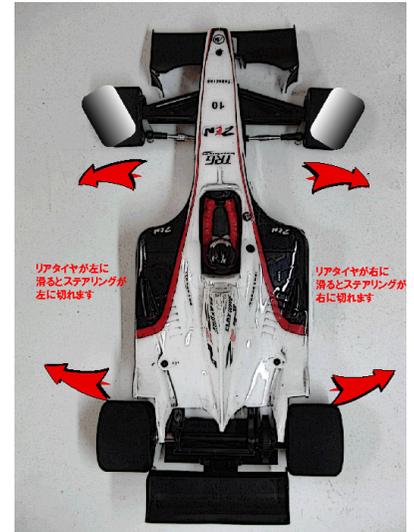
*3チャンネル目の作動量は必ずプロポの最大値で行ってください。+100から-100までの場合は+100から-100までを使用して下さい

④走行前の注意事項 この項目は毎回行う必要があります。

アンプ側のスイッチを入れてからステアリングが「カチャ」と動くまでステアリングや車体を動かさないでください。約2秒間でニュートラル位置を検出しています。ステアリングや車体を動かしてしまうとニュートラルがズレてしまいます。ズレた場合は電源を入れ直してください。走行前にステアリングホイールを左右一杯まで切ってください。これで、最大舵角を設定しています。

⑤ジャイロの作動確認

走行状態にしてジャイロの調整ダイヤルを50%くらいに合わせます。リアを右に振ればステアリングが右、左に振ればステアリングが左に動く事を確認します。この時に逆に動くようでしたらジャイロを上下逆に取り付けてください。



トラブルシューティング

ゲインダイヤルを回すとニュートラルがずれる
電源を入れるときのニュートラルが上手く出ていません
もう一度電源を入れ直してください
3チャンネル目でゲイン調整が出来ない
本体ダイヤルが一番プラス方向になっていますか
プロポとのゲイン同調が上手く行っていない(3を参照)
ストレートでふらつく
ジャイロゲインが多すぎです。ふらつかない所まで戻してください。
簡単にスピニング
ジャイロの取り付けが上下逆の可能性があります
上の説明を参照して確認してください。

3チャンネル設定の補足

操作	目的	頻度	各プロポの参照ページ
1 送信機の3CH目を使えるようにする	プロポ側で感度(ゲイン)調整をする為	初期設定のみ必要	フタバ4PK(P88) 4PL(P59~P61) サンワM11X(P50~P51) KO EX10(P27) EX1(P51)
2 3 CH 目の操作ステップを大きくする	4の操作を素早く行うため	初期設定のみ必要	フタバ4PK(P88) 4PL(P59~P61) サンワM11X(P50~P51) KO EX10(P25) EX1(P34~P36)
3 ジャイロ本体のダイヤルをプラス方向(上手参照)一杯に回す	この位置で3チャンネル目での操作が可能	常にこの位置で使用	
3 送受信機の電源を入れる			
4 3ch のボタン、ダイヤルなどを、「最大(最も+側、+100等)」→「最小(最も-側、-100等)」と操作する。これを5回繰り返し、最後に「最大」にして3秒待つ。	ジャイロに3 CH の最大値、最小値を記憶させる	初期設定のみ必要	
5 サーボが小さく3回動く	設定完了の確認	初期設定のみ必要	
6 3ch の操作ステップを1~5程度に設定しなおす	ゲイン調整をし易いようにする	初期設定のみ必要	2参照 (EX10の場合は5ステップに使い易い数値を入力する)
7 電源を入れた後約2秒車体及びステアリングを動かさない	ニュートラルを検出しています。	走行毎	2チャンネルプロポでも必要な操作です
8 ステアリングを左右一杯に切る	最大舵角を憶えさせます	走行毎	2チャンネルプロポでも必要な操作です